

山形市野草園だより

はぎ はな
萩の花



おみなえし
女郎花



おばな
尾花



ふじばかま
また藤袴



くずばな
葛花



アサギマダラ

あまがお
朝貌の花



なでしこ はな
撫子の花



秋の七草 二首
【万葉集 山上憶良】

秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびとり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花
萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花



9～10月中旬の予定

◆開園期間

- 開園期間 4/1(月)～11/30(土) 9:00～16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 毎週月曜日(ただし 月曜日が祝日の場合は翌平日)
*9月の休園日: 9/2(月)、9/9(月)、9/17(火)、9/24(火)、9/30(月)

◆野草園は SUKSK ポイント対象施設

- 内容 専用のスマホアプリで二次元コードを読み取るかポイントシールを受け取ることで、1回の来園で500ポイント付与(1日1回まで)《詳細は「山形市 健康ポイント スクスク」で検索》

◆ガイドウォーキング

- 実施日 毎週日曜日・祝日 1日2回実施 *9月は土曜日も実施します
*9月の実施日: 9/1(日)、9/7(土)、9/8(日)、9/14(土)、9/15(日)、9/16(月)、9/21(土)、9/22(日)、9/23(月)、9/28(土)、9/29(日)
- 時間 ① 10:30～11:30 ② 13:30～14:30
- 内容 その日の見頃の場所・見頃の植物を案内
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆ボタニカルアート作品展

- 日時 9月1日(日)～9月29日(日) 9:00～16:30
(※ 1日は13:00から、29日は13:00まで)
- 内容 杉崎ボタニカルアート教室の先生と生徒の作品を展示
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆アサギマダラ祭り

- 期間 9月14日(土)～9月23日(月・祝)
- 内容 期間中、秋の七草のひとつフジバカマに渡り蝶として有名なアサギマダラが飛来します。また期間中は下記のイベントも実施いたします。

◆市役所ウインドアンサンブルコンサート

- 日時 9月21日(土) 13:30～
- 費用 無料(入園料300円は別途)
※詳細については後日ホームページ等でお知らせいたします。

◆ポニー乗馬体験

- 日時 9月22日(日) 10:00～11:30、13:30～15:00
※雨天時 9月23日(月)に延期
- 対象 小学校低学年以下
- 費用 無料(入園料300円は別途)

◆フィールドビンゴ

- 日時 9月14日(土)、15日(日)、16日(月・祝)、21日(土)、
22日(日)、23日(月・祝) 10:00~12:00
- 対象 小学生及び未就学児とその保護者 先着200名
- 内容 園内9つのチェックポイントを回って、散策を楽しみながら野草園の植物に触れる。参加者に景品プレゼント。

◆ボタニカルアート体験講座

- 日時 9/20(金) 10:00~12:00
- 内容 野草園の植物を描く
- 申込 先着15人 8/20(火)~ 野草園まで電話で
- 参加費 800円(入園料300円は別途)

◆アサギマダラ観察会

- 日時 9/21(土) 10:00~12:00
- 内容 渡り蝶として有名なアサギマダラを観察しながら、生態やマーキング調査等について解説
- 申込 小学生以下とその保護者 先着10組 8/20(火)~ 野草園まで電話で
- 参加費 500円(入園料300円は別途)

◆ガーデニング教室

- 日時 10月5日(土) 10:00~12:00
- 内容 ハンギングバスケット作り
- 申込 先着15人 9/20(金)~ 野草園まで電話で
- 参加費 3,600円(入園料300円は別途)

《「第31回野草園の魅力を探る写真コンテスト」作品募集》

- 対象 応募区分 一般の部、小中学生の部
過去1年間に野草園で撮影された作品を募集
- 申込 8月30日(金)~9月20日(金) 当日必着
※詳細はホームページ (<https://www.yasouen.jp>) の応募要項をご覧ください。

◆カフェの営業・山野草販売 (自然学習センター)

- カフェ やまぼうし
《営業》木曜・土曜・日曜
《メニュー》カレー(ブラック・グリーン)、ピザトースト、ハム野菜サンド、
バナナシェイク、コーヒー(アイス・ホット)
- 山野草販売
《営業》土曜・日曜・祝日に販売予定(平日販売の場合もあり・夏の期間休業あり)

◆開花した花等の紹介

- 野草園のホームページから観察日記・Instagramをご覧ください。
園内の様子や開花状況等をお知らせいたします。
- ホームページ内の「植物検索システム」で園内の植物を検索できます。



▲野草園観察日記▲ ▲Instagram▲

※教室は昨年の様子



アサギマダラ祭り



市役所ウインドアンサンブルコンサート



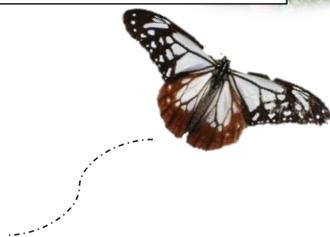
ボタニカルアート体験講座



アサギマダラ観察会



ガーデニング教室



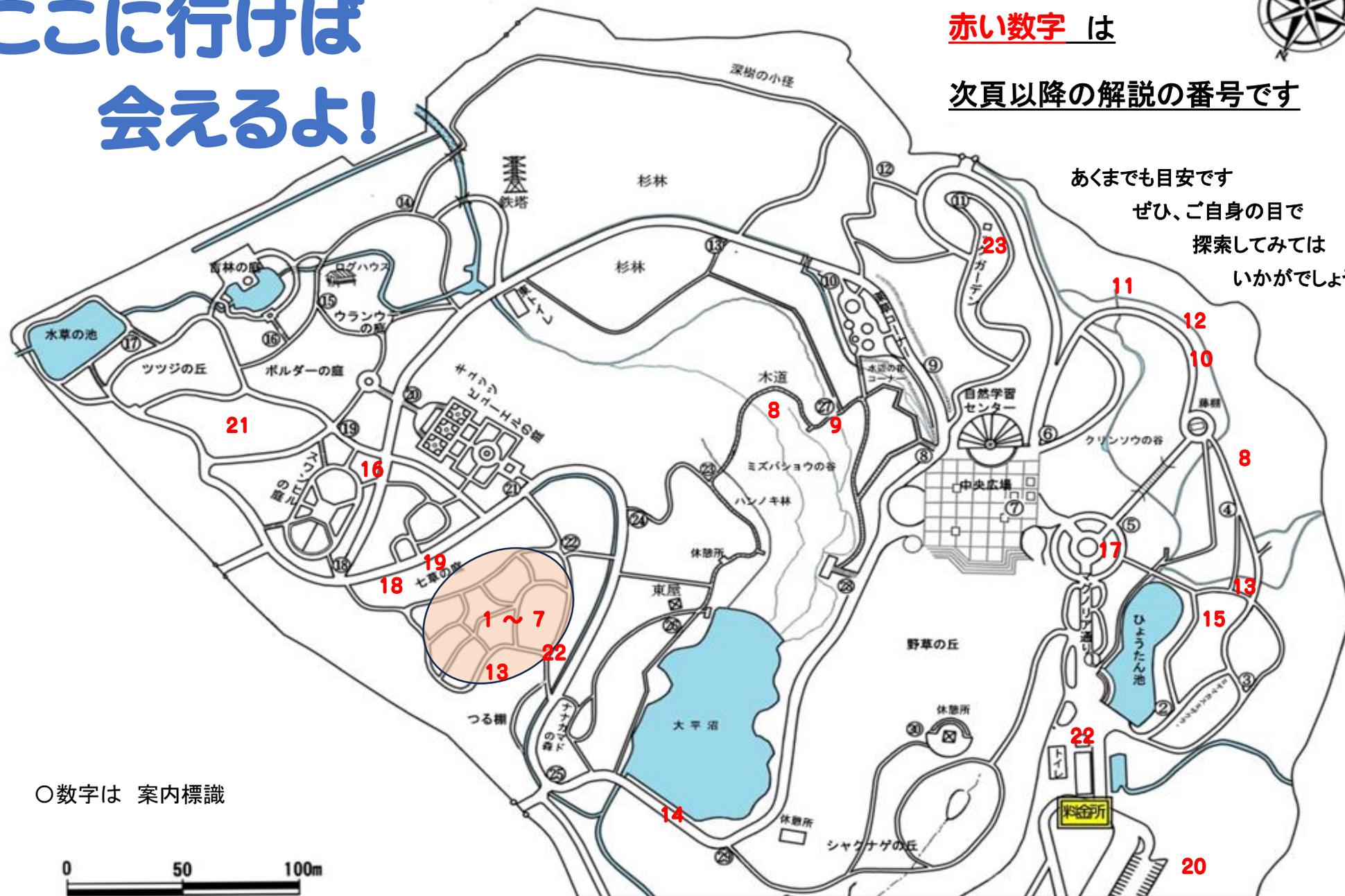
ここに行けば 会えるよ!



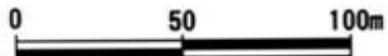
赤い数字 は

次頁以降の解説の番号です

あくまでも目安です
ぜひ、ご自身の目で
探索してみてください
いかがでしょうか!



○数字は 案内標識



「秋の七草」

「秋の野に 咲きたる花を 指折り（およびをり） かき数ふれば 七種（ななくさ）の花」
 「萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花」

「秋の七草」は、万葉集に収められている山上憶良の2首の歌が始まりとされています。1つ目の歌で「秋の野に咲いている草花を指折り数えると7種類ある」とし、2つ目の歌で「それは萩の花、尾花、葛（くず）の花、撫子（なでしこ）の花、女郎花（おみなえし）、また藤袴（ふじばかま）、朝貌（あさがお）の花である」と述べています。「朝貌」については諸説ありますが、現在では桔梗（ききょう）が定説です。

春の七草が七草粥にして無病息災を祈るものに対し、秋の七草はその美しさを鑑賞して楽しむものです。そのため、7種一緒に何かの祭祀などに使用されることはありません。秋の七草の特徴は見て楽しむだけでなく、薬用など実用的な草花として昔の日本人に親しまれたものが選ばれていることです。



1 ヤマハギ(マメ科) 七草の庭

各地の山野に生える高さ2m程の落葉低木です。葉腋から長い花柄を伸ばし花をつけます。紅紫色の蝶形花は、翼弁の色が濃く、ほぼ竜骨弁と同じ長さで少し内側に曲がります。葉は長い葉柄があり、広楕円形の小葉の先端は円形です。花柄も長く、葉の間から花穂が突き出しているのが特徴です。



2 ススキ(イネ科) 七草の庭

野原に生育する多年草です。尾花ともいい秋の七草のひとつです。また、茅（かや「萱」とも書く）と呼ばれる有用植物です。短いがしっかりした地下茎から、多数の花茎を立てます。葉は細長く、茎の先端から十数本に分かれた花穂をつけます。



3 クズ(マメ科) 七草の庭

山野に見られる大形のつる状草本です。茎の基部は木質化します。葉は大きく、3出複葉です。葉腋から総状花序が上向きに立ち上がり、濃紺紫色の甘い芳香を発する蝶形花を房状付け、下から順に開花します。根は太く多量のでんぷんを含んでおり、葛粉（くずこ）がとれます。



4 カワラナデシコ (ナデシコ科) 七草の庭

各地の山野に自生する多年生草本です。葉は対生し、線形または披針形で、基部は茎を少し抱きます。花茎の先に咲く淡紅紫色の花は、花弁の先が細かく裂けとても優美に見えます。秋の七草のひとつに数えられていますが、7月には咲き始めます。河原に生える可憐な花の様子が名前の由来です。



5 オミナエシ (スイカズラ科) 七草の庭

日当たりの良い山野に生える多年草です。葉は対生し羽状に分裂し、裂片は尖ります。茎は上部で枝分かれし、そこに黄色の小さい花を多数つけます。秋の七草として有名な植物です。花が満開になるとその独特なおいで、オミナエシが咲いていることがわかります。



6 フジバカマ (キク科) 七草の庭

奈良時代に中国から渡来し、本州の関東地方以西、四国、九州などに野生する多年草です。葉は短い柄があり対生し、長楕円形～長楕円状披針形でふつつ3深裂します。頭花は淡紅紫色で5個の筒状花があり、それが散房状にたくさんついています。秋の七草のひとつですが、野生は少なくなっています。渡り蝶として有名なアサギマダラが訪れます。



7 キキョウ (キキョウ科) 七草の庭

日当たりのよい山地や野原などに生える多年草です。根は太く黄白色をしており、薬用とされます。葉は長卵形で先は尖り、縁には鋸歯があります。茎の上部に青紫色の鐘形5裂の花を開きます。秋の七草というアサガオはキキョウのことだといわれています。



8 ウゼントリカブト (キンポウゲ科) 藤棚・木道

東北奥羽山脈を中心とした山地帯に生える多年草です。草丈50～180cmの茎の上部に青紫色の花を付けます。花弁に見えるのは萼片で、その中に細長い花弁が2枚あり、奥には距という部分があり蜜が分泌されます。雄しべと雌しべは入口の下側にあります。強い有毒植物です。



9 アケボノソウ (リンドウ科) 案内標識②⑦

山野の湿り気のあるところに生える2年草で、花は白く深く5裂しているのが特徴です。裂片には、黄緑色の蜜腺溝が2個と濃緑色の斑点が多数あります。この白い花卉を明け方の空に、斑点を星々に見立てたことが「曙草」の名前の由来です。



10 サラシナショウマ (キンポウゲ科) 藤棚南

落葉樹林内や草原などに生える多年草です。茎の先に総状花序を出し、柄のある白い小さな花を密につけます。花には両生花と雄花があり、萼片は楕円形で早落します。名前は晒菜升麻と書き、若葉をゆでて水でさらして食べたことが名前の由来です。根茎は肥大し、乾かしたものが生薬の升麻(しょうま)で解毒・解熱剤などに使用されました。



11 ツリフネソウ (ツリフネソウ科)

クリンソウの谷南

水辺に群生する1年草で、茎は赤みを帯び節がふくらみます。葉の基部はくさび形で形は菱状楕円形、縁には鋸歯があります。茎先に数個の紅紫色の花を釣り下げます。距は著しく後ろに突き出て渦巻き状になっています。果実は熟すと果皮が裂けて種子を飛ばします。名前の由来は、花の姿が花器の釣舟に似ることによります。



12 キツリフネ (ツリフネソウ科) 藤棚南

山地の林内や林縁など、湿った半日陰地に生育する1年草で草丈は50cm程です。葉の付け根から花茎を出し、黄色の花を釣り下げます。淡紅色のツリフネソウの距が巻いているのに対して、本種は距が伸びています。



13 カリガネソウ (シソ科) ミズキ林・七草の庭

山地や原野に生える多年草です。近くによると臭気があります。茎の断面は四角形で、葉は鋸歯のある広卵形で対生します。葉腋から長い柄を持つ集散花序を出して、紫色の唇形花をまばらに付けます。雄しべ、花柱ともに長く、花冠から飛び出すのが特徴です。花の形が雁(かり)の姿に似ていることが名前の由来です。



14 アキノノゲシ (キク科) 中央広場東

日当たりの良い荒れ地や草地に生える草丈0.6～2mの1～2年草です。下部の葉は羽状に裂けますが、上の葉は小さくて全縁です。茎の上部に円錐状に淡黄色の花を数個付けます。花は昼間開き、夕方にはしぼんでしまいます。



15 ツルボ (クサスギカズラ科) ミズキ林東

山野の日当たりの良い所に自生する多年草で、ニラに似た長線形の葉を出します。高さ20～40cmの花茎を立ち上げ、分岐せず茎の先に多数の小花を穂状につけて下から上に咲いていきます。ツルボの球根の外皮をとると、つるりとした坊主頭に似ており、「ツルボウズ」から転訛して「ツルボ」の名前になったといわれています。



16 ハナトラノオ (シソ科) スワンヒルの庭西

北米原産で大正時代に渡来しました。穂状の花序に淡紅紫色又は白色の花を付けます。別名「角虎ノ尾 (カクトラノオ)」。茎が角ばっていて、花が虎の尾に似ていることから付けられた名前です。さらに、花がとても綺麗なので「花の虎の尾」の名前がついたようです。とても丈夫な植物で、ほとんど世話が必要ありません。



17 センニンソウ (キンポウゲ科)

マгноリア通りのオオヤマザクラ下

山野などに生える多年生のつる植物です。茎は長く伸びてまばらに分枝し、葉と同様に無毛です。葉は対生、奇数羽状複葉で3～7枚の小葉があります。葉の腋に白色の花を多数つけます。萼片は4枚で十字形に平開し、それが花弁に見えます。花後、果実より伸びた銀白色の長い毛が、まるで仙人のヒゲを連想させることが名前の由来です。



18 ツクシハギ (マメ科) 七草の庭

本州岩手県以南、四国、九州に生える高さ2mほどの落葉低木です。茎は斜上し、よく枝分かれます。小葉は厚質で、楕円形～卵形、表面(向軸側)は無毛。花は長さ10～15mm。全体が白っぽい紅紫色で、旗弁の内側(向軸側)が紅紫色、外側(背軸側)は淡色、翼弁は紅紫色、竜骨弁はほとんど白色です。



19 ミヤギノハギ (マメ科) 七草の庭

高さ 1.5m 程の落葉低木ですが、草本のような性質も備えているので半低木ともされます。花は、葉腋に多くつき、長さ 1.5cm 程になる紅紫色の蝶型花です。枝がとても柔らかく、地面に着くほど枝垂れているのが特徴です。葉はマメ科に普通の三出複葉で、小葉は円形に近い楕円形、長さ 3cm 前後です。日本各地に分布しています。



20 シラハギ (マメ科) 一般駐車場斜面

ミヤギノハギの変種で、白い花をつける落葉低木です。多少、枝垂れるのが特徴です。高さは 1~2m。全体に絹状の伏毛があります。葉は 3 出複葉で互生します。小葉は長さ 2~6cm の楕円形又は長楕円形です。シロバナハギと呼ばれることもあります。



21 タムラソウ (キク科) スワンヒルの庭東

山地の草原などに多い多年草で、葉は互生して羽状に深裂します。枝先にアザミに似た花をたくさんつけます。葉もアザミに似ていますが、刺は無くやわらかい葉です。頭花は紅紫色で上向きにつき、総苞は鐘形で花柱の先がふたつに割れ反り返る特徴があります。



22 ワレモコウ (バラ科) 七草の庭・円形花壇

山野に普通に生える多年草です。花は楕円形で、上から下へと開花します。花は花弁がなく 4 枚の萼片が花弁のように見えます。萼片は暗紫色で雄しべは 4 個、葯は黒く萼片より短いようです。花の名前は、紋所のモコウからきたものといわれています。



23 ヤクシソウ (キク科) ロックガーデン

山野に普通に生える 2 年草です。葉は薄く、基部で莖を抱きます。枝先に多数の花を付けます。頭状花は全部黄色の舌状花からなり、花期が終わると下を向き、黒っぽい総苞と白い冠毛が目立ちます。名前は、葉の形が薬師如来の光背に似ること由来すると言われていますが、他の説もあります。